

秋田県（将来の秋田の林業をリードする若い林業技術者を養成する「秋田林業大学校」）

- 本県の森林は、全国でも有数の資源量を誇るまでに成長し、この成熟した資源は今まさに活用する時期を迎えている。
- 今後、増加する木材生産に対応していくためには、高性能林業機械による低コスト生産から木材販売・利用までをマネジメントできる技術者が必要となるが、林業従事者は高齢化が進んでおり、林業の将来を担う若い人材の確保が大きな課題となっている。
- 令和2年度においては、林業未経験者である研修生31名（1年生16名、2年生15名）に対し、秋田の林業をリードする林業技術者となるべく、幅広い知識や技術、マネジメント能力を習得するための研修を行い、2年生15名が森林組合、林業事業体等の林業分野へ就業した。
- 今後も年18名程度の新規研修生を受け入れ、地域林業を支える「若い林業技術者」を養成し、秋田県の林業の振興を図っていく。

□ 事業内容

1 「オール秋田で育てる」林業トップランナー養成事業

- ・ 秋田林業大学校において、就業前の林業未経験者を対象に、幅広い知識・技術とマネジメント能力等を習得するための研修を実施。

【事業費】 36,298千円（うち譲与税28,637千円）

【実績】 ○森林・林業の知識や森林の造成・生産・利用の技術を習得するための講義及び実習を1学年あたり1,194時間実施した。

○研修生（2年生）15名が林業分野へ就業した。

- ・ 森林組合 4名
- ・ 林業会社 11名

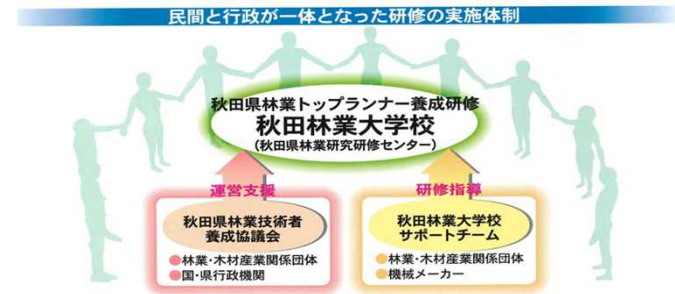


（機械操作実習）



（ガイドレーザーを使用した伐倒実習）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 基本的な知識や技術については県職員が講師となって講義や実習を行うが、高性能林業機械を導入した低コスト生産システム等のより専門的な知識や技術についてはサポートチームが講師となって研修の充実化を図った。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	148,848千円
②私有林人工林面積（※1）	177,893ha
③人口（※2）	1,023,119人
④林業就業者数（※3）	2,369人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、3：「H27年国勢調査」より